

市長選挙・市議会議員補欠選挙の結果



上田 清(73)
矢田山町

6月22日(日)に行われた大和郡山市長選挙の結果、
上田 清 氏の当選が決まりました。
今回の市長選の投票率は42.20%。
任期は4年(令和11年7月6日まで)となります。



中村 尊裕(44)
小泉町



堀川 力(39)
南郡山町

また、同日に行われた、大和郡山市議会議員補欠選挙の結果、
中村 尊裕 氏、堀川 力 氏の当選が決まりました。
今回の市議会議員補欠選挙の投票率は42.19%。
任期は令和9年4月29日までとなります。

(掲載は五十音順で、敬称は省略しています。また、年齢は8月1日現在で掲載しています。)

問 選挙管理委員会(内線462)

秀長さんプロジェクトの取組み

来年放送予定の大河ドラマ「豊臣兄弟!」の主人公豊臣秀長ゆかりの地である大和郡山市の魅力を発信することを目的としたプロジェクトです。

◆ロゴマーク・キャッチコピーをご活用ください

申請等の詳細は右記QRコードからご確認ください。無償で使用できます。
商品や広報物などにご活用ください。



ロゴマーク

秀長と大和郡山において「輪」は様々なものを象徴します。
秀長が家族や家臣たちと固めた結束の「輪」、民との間に築いた信頼の「輪」、箱本十三町に見られると自治の「輪」、郡山城下町も大きな外堀＝「輪」の中にあります。
秀長の軌跡を訪ねる大和郡山を巡る観光名所を描き「秀長の輪 巡り」と呼びたいくなるインスピレーションを与えます。

キャッチコピー「秀長が残した輪は 今もここにある」

大和郡山に残る秀長の足跡を「輪」というモチーフで表現。かつて秀長が築いた様々な「輪」は、今なお街の中に息づいています。訪れる人々がその「輪」に触れ、歴史と現在、人と人、地域と旅人がつながっていく。そんな不変の絆と大和郡山の魅力を象徴しています。



◆「大河ドラマ館」がオープンします (主催:秀長さんプロジェクト推進協議会)

豊臣秀長が主人公の大河ドラマ「豊臣兄弟!」が来年放送されるにあたり、当市に「大河ドラマ館」がオープンします。「大河ドラマ館」では、ドラマの衣装・小道具や各種パネルの展示、ドラマの魅力を掘り下げる特集映像の上映等を行う予定です。
入場料や入場券の発売開始時期等、詳細は、今後、市HP等でお知らせします。

名称＝豊臣兄弟! 大和郡山 大河ドラマ館

日時＝令和8年3月2日(月)～令和9年1月22日(金) 10時～17時(最終入場時間16時30分)

※年末年始(12月28日～1月4日)、施設の点検等による休館あり。

場所＝DMG MORI やまと郡山城ホール1階 展示室

※東多聞櫓で城跡内歴史展示を別途開催する予定です。

問 秀長さんプロジェクト推進協議会事務局(企画政策課内・☎53-1160)

流域治水

みんなで取り組む

流域治水とは

地球温暖化に伴う気候変動等の影響による豪雨災害が頻発し、多くの被害が発生している。対策として河川堤防などの整備を一層加速するだけでなく、上流の山間地域や下流の氾濫地域において、河川管理者や下水道管理者、民間企業、住民などあらゆる関係者が協働して水災害対策を実施することをいいます。

なぜ流域治水が必要？

①全国的に激甚化する豪雨災害

気候変動による強雨の発生件数が全国的に増加傾向にあり、1時間あたりの雨量が50ミリを超える発生件数は、50年前の約1.5倍に増加

②水害が発生しやすい大和川流域の特徴

大和川中上流域(奈良県域)は盆地のため勾配が緩やかで、亀の瀬狭窄部に向けて多くの川が1本に集まる

流域対策の柱

「流域治水」の実践に向け、令和4年5月に国・県・流域内の市町村が共同して「大和川流域水害対策計画」を策定し、流域対策を推進しています！



氾濫をできるだけ防ぐ減らす

河川改修、遊水地の整備、
雨水貯留浸透施設の整備、
ため池の治水利用、水田貯留

被害対象を減少させる

貯留機能保全区域の指定

被害の軽減復旧復興

防災教育、
洪水ハザードマップの作成・周知

家でできる流域対策

雨水タンクの設置



降雨が一気に河川や水路に流入することを抑制します。貯めた雨水は生活用水として利用が可能です。※雨水タンク設置に補助金があります。



ハザードマップの確認



身のまわりの水害の危険性や水害時の危険性を確認しておきましょう。

※市では「大和郡山市総合防災マップ」を作成しています。



雨の日にお風呂の水を流さない

お風呂などの家庭排水も最終的に川へ流出します。大雨が降る日にお風呂を流さないことで川へ流れ出る水を減らすことができます。



側溝や排水口の清掃

雨は排水路を通して川へ流出します。落ち葉などがたまると、雨が流れていきません。側溝や排水口の清掃しておきましょう。



避難場所を家族と話し合う

避難に備えた計画を立てて、避難ルートや避難場所、持ち物など、いざという時、すぐに逃げられるように家族と話をしておきましょう。



流域治水は行政だけでなく、
流域のみなさんの
協力が必要です！